



## 平成29年3月期第1四半期

# 決算説明資料

本資料は、当社の平成29年3月期第1四半期決算における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 澤田 秀雄		
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階		
設立	昭和33年(1958年)1月21日		
資本金	12,223,312,500円		
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕5社		
従業員数	〔グループ全体〕5,660名	(当社単体)	5名
		(連結子会社)	4,977名
		(持分法適用関連会社)	678名

## 【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	36,940,057,000円

平成28年6月末時点

昭和33年 1月	当社(協立証券(株))設立
平成11年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任
平成11年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
平成13年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
平成16年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
平成18年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
平成19年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕5社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

平成28年6月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	40.00%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
損害保険	▲ エイチ・エス損害保険株式会社	49.63%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	39.64% ※2
ベンチャーキャピタル	▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	37.59%
少額短期保険	▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	19.50% ※1

【再生ビジネス】

IT (デジタルコンテンツ事業)	● 株式会社インデックス	100.00%
------------------	--------------	---------

■ 当連結会計年度より、(株)インデックスを連結子会社とした。

■ (※1) 平成28年4月、エイチ・エスライフ少額短期保険(株)が第三者割当増資を実施したことにより、当社が保有する同社の議決権比率は21.38%から19.50%となる。

■ 平成28年5月、当社が保有する(株)アスコットの株式の一部を売却したことにより、同社は当社の連結子会社から除外。

■ (※2) 平成28年5月、(株)外為どっとコムが既存株主から自己株式を取得したことにより、当社が保有する同社の議決権比率は38.00%から39.64%となる。

## 《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	平成15年 国際競争入札により株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	平成24年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	平成18年 設立（平成19年 当社の証券事業を承継）
▲ エイチ・エス損害保険株式会社	平成17年 設立（平成19年 営業開始）
● エイチ・エス債権回収株式会社	平成18年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	平成17年 株式を取得
▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	平成18年 株式を取得
▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	平成22年 設立（平成23年 営業開始）
● 株式会社インデックス	平成27年 株式を取得

# 連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年4月～6月)	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月～6月)	前年同期比
営業収益	13,234	12,519	94.6%
純営業収益	6,921	4,696	67.9%
営業利益	2,678	416	15.5%
経常利益	2,819	439	15.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,987	1,253	63.1%

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成28年3月期 (平成28年3月末時点)	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年6月末時点)	前年同期比
総資産	372,446	340,308	91.4%
純資産	61,876	59,257	95.8%
現預金	61,015	62,859	103.0%

## 主な増減要因

- 【銀行関連事業】モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績は、営業収益は増加しているものの、資金調達費用の増加や、為替ヘッジを目的とするスワップ取引において評価損を計上したため、前年同期比で減益。

また、現地通貨安(円高)も当社の連結決算(円建て)に影響。

営業収益 103億46百万円 (前年同期比 2億54百万円増)

営業利益 2億 7百万円 (前年同期比 17億96百万円減)

- 【証券関連事業】国内株式市場は海外情勢の影響等により先行きの不透明感が増す中、エイチ・エス証券(株)は前年同期比で減益。

営業収益 9億 5百万円 (前年同期比 4億円減)

営業利益 1億 8百万円 (前年同期比 2億95百万円減)

- 当第1四半期において(株)アスコットの株式を一部売却したため、同社を当第1四半期より連結の範囲から除外。これにより、同社の業績は当社の連結決算に反映されなくなった。

(前年同期における不動産関連事業の営業収益は14億56百万円、営業利益は1億96百万円)

- (株)外為どっとコム的大幅な増収増益等により、持分法による投資損益は2億62百万円(前年同期比2億29百万円増)となる。

- 平成28年初めより為替が円高傾向で推移したことにより、為替差損2億73百万円を計上。

(前年同期は為替差益84百万円を計上)

- (株)アスコット株式の一部売却による関係会社株式売却益12億8百万円を特別利益として計上。

# セグメント別業績

平成29年3月期第1四半期 (平成28年4月1日～平成28年6月30日) (単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回 収関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	10,346	905	934	349	248	12,519
営業費用	10,138	797	814	410	82	12,102
営業利益	207	108	120	△61	165	416
経常利益	207	133	107	△63	254	439

平成28年3月期第1四半期 (平成27年4月1日～平成27年6月30日) (単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他事業	連結
営業収益	10,092	1,306	368	1,456	310	13,234
営業費用	8,087	902	344	1,260	83	10,555
営業利益	2,004	403	24	196	226	2,678
経常利益	2,004	423	14	166	457	2,819

※ 上表の「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示。

※ 当連結会計年度より、(株)インデックスを連結子会社としたことに伴い報告セグメントに「IT関連事業」を追加し、(株)アスコットを連結子会社から除外したことに伴い報告セグメントから「不動産関連事業」を削除。

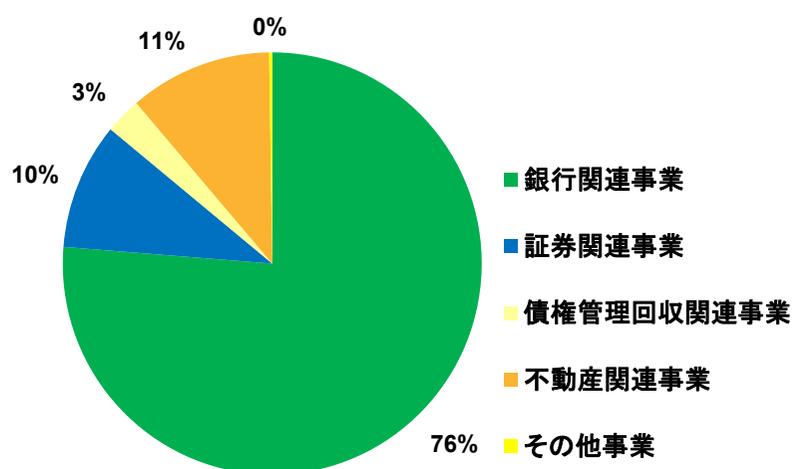
# 営業収益の構成

## 事業別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

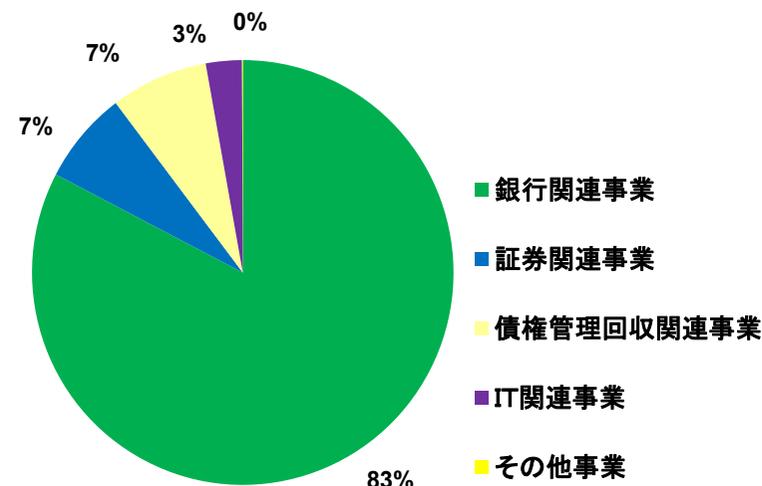
（単位：百万円）

セグメント	期間	平成28年3月期第1四半期 （平成27年4月～6月）	平成29年3月期第1四半期 （平成28年4月～6月）	前年同期比
銀行関連事業		10,092	10,346	102.5%
証券関連事業		1,284	884	68.9%
債権管理回収関連事業		368	934	253.4%
不動産関連事業		1,456	-	-
IT関連事業		-	346	-
その他事業		31	7	22.4%
合計		13,234	12,519	94.6%

平成28年3月期第1四半期  
13,234百万円



平成29年3月期第1四半期  
12,519百万円



# 澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目	期間	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年4月～6月)	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月～6月)	前年同期比
営業収益		310	248	80.1%
営業利益		232	165	71.1%
経常利益		436	△8	-
四半期純利益		2,233	647	29.0%
総資産 (前期末 / 当四半期末)		26,412	26,823	101.6%
純資産 (前期末 / 当四半期末)		23,924	24,551	102.6%

## 主な増減要因

- (株)アスコット株式の一部売却により、関係会社株式売却益6億68百万円を特別利益として計上。なお、前期は九州産業交通ホールディングス(株)株式の一部売却による関係会社株式売却益25億14百万円を計上しており、前年同期比では減益。
- 役員収益が前年同期比で減少したこと等により、営業収益・営業利益は前年同期比で減少。
- 受取利息は増加したものの、為替差損の増加により、経常損失を計上。

# ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	科目	期間	平成27年12月期 第1四半期 (平成27年1月~3月)	平成28年12月期 第1四半期 (平成28年1月~3月)	前年同期比
所在地	モンゴル国ウランバートル市	Interest income (資金運用収益)		146,005	159,772	109.4%
資本金	52,792百万MNT (MNT:トゥグルグ)	Net interest income (純資金運用収益)		64,242	62,257	96.9%
議決権の 所有割合	54.41%	Profit for the period (四半期純利益)		27,994	9,460	33.8%
主要事業	銀行業	Total Assets (総資産) (前期末/当四半期末)		5,117,165	5,200,371	101.6%

## 会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

## 概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、預金残高、融資残高、資金運用収益ともに、前年同期比で増加。しかしながら、資金調達費用の増加や、為替ヘッジ目的のスワップ取引において評価損236億27百万MNTを計上したため、前年同期比で減益。
- モンゴル経済は減速傾向であるが、世界屈指の銅・金鉱山(オクトルゴイ鉱山)の開発事業において、世界各国の金融機関15行との間で44億米ドルの融資契約が締結されたことから、開発による経済効果が期待される。
- ハーン銀行は、モンゴルの経済動向を注視し、今後も慎重な姿勢で経営に臨む。
- E-バンキングサービスの推進、モンゴル初となる紙幣還流式ATM(日立オムロンターミナルソリューションズ(株)製)の増設や、ATMを複数台設置した“Express Banking Center”の運営など、更なるサービス向上にも注力。

	平成27年3月末	平成28年3月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	2,571,507	3,162,975	123.0%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万MNT)	2,985,402	3,121,838	104.6%

【為替レート】  
平成28年3月末  
1円 = 18.23MNT  
平成28年1月~3月平均  
1円 = 17.33MNT

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	科目 \ 期間	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年4月~6月)	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月~6月)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益	1,306	905	69.3%
資本金	3,000百万円	営業利益	403	108	26.8%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	423	133	31.5%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	四半期純利益	636	125	19.7%
		総資産 (前期末/当四半期末)	42,387	38,381	90.5%

## 会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 平成19年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

## 概況

- 国内株式市場は、英国のEU離脱問題等により株価が下落する中、受入手数料の減少等により、前年同期比で減収減益となる。
- 外貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力したものの、預り資産は前年同期比で減少。
- 外部環境に左右されない安定的収益の確保、認知度の向上及び同業他社との差別化を目指す。
- 「スマ株」を中心としたインターネット取引ツールの利便性向上や売買代金シェアの獲得に注力。
- IPO(新規公開)2社、PO(既公開)1社の幹事に参入。

	平成27年6月末	平成28年6月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	377,192	319,822	84.8%

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス損害保険株式会社	科目	期間	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年4月～6月)	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月～6月)	前年同期比
所在地	東京都新宿区		経常収益	765	790	103.3%
資本金	1,612百万円	経常利益	△7	73	-	
議決権の 所有割合	49.63%	四半期純利益	△6	51	-	
主要事業	損害保険業	総資産 (前期末/当四半期末)	3,825	3,601	94.2%	

## 会社プロフィール

- ① 海外旅行保険を主力商品とする損害保険会社
- ② 平成28年4月、海外サポート業務及び事故受付業務を新規設立した子会社のエイチ・エスサポートセンター(株)を通じて提供開始。

## 概況

- アジア方面への日本人出国者数が回復傾向にあることから、海外旅行保険は堅調に推移し、経常収益は前年同期比で微増。
- 燃油サーチャージ減少や円高基調により今後の海外旅行者数の増加が見込まれることから、主力商品である海外旅行保険の加入販促ツールの配布等、海外旅行保険の付保率(保険価額に対する保険金額の割合)の向上を目指す。
- 平成28年7月1日～9月30日、ネット海外旅行保険の契約キャンペーン『夏たび応援フェア』を開催。
- 9月には海外旅行保険新特約の発売を予定。

	平成27年6月末	平成28年6月末	前年同期比
契約件数(累計) (件)	123,917	125,237	101.1%
収入保険料(累計) (百万円)	888	897	100.9%

# エイチ・エス債権回収(株)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	科目 \ 期間	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年4月~6月)	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月~6月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	368	934	253.4%
資本金	500百万円	営業利益	25	120	468.8%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	14	107	718.2%
主要事業	債権管理回収業	四半期純利益	7	73	1045.5%
		総資産 (前期末/当四半期末)	2,833	2,850	100.6%

## 会社プロフィール

- 平成18年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

## 概況

- 前期(平成28年3月期)における買取案件からの回収が、担保付債権、無担保・無剰余債権ともに好調に推移し、前年同期比で大幅な増収増益となる。また、回収の早期化等により、買取債権回収高も大幅な増加となった。
- 金融機関等の債権者から債権を直接買取る「買取型サービサー」として、積極的にバルクセールへ参加。また、取引金融機関は順調に増加。
- 更なる債権の確保のため、メガバンク・地方銀行へのアプローチを強化し、事業再生案件に取り組むなど、事業の多様化を図る。

	平成27年6月末	平成28年6月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	264	849	321.2%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	93	69	74.5%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	科目	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年4月～6月)	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月～6月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	1,646	2,282	138.6%
資本金	778百万円	営業利益	592	1,095	184.7%
議決権の 所有割合	39.64%	経常利益	709	983	138.6%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	四半期純利益	460	637	138.4%
		総資産 (前期末/当四半期末)	130,288	126,500	97.1%

## 会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 平成26年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

## 概況

- 6月下旬の英国のEU離脱を決定する国民投票前後において、英ポンドを中心に外国為替市場のボラティリティ(価格の変動率)が拡大したことに加え、実施した各種施策の成果により新規顧客が増加した結果、前年同期比で増収増益を継続。
- 平成27年12月より、「NZドル/円」をはじめとした13通貨ペアでスプレッドの縮小を実施。「香港ドル/円」を除く全通貨ペアにおいて、業界最狭水準のスプレッドを提供中。
- 高水準のスワップポイントで人気が高い「トルコリラ/円」において、業界最高水準のスワップを提供中。

	平成27年6月末	平成28年6月末	前年同期比
口座数 (件)	395,281	422,437	106.9%
預り資産残高 (百万円)	111,328	110,059	98.9%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	平成27年12月期 第1四半期 (平成27年1月~3月)	平成28年12月期 第1四半期 (平成28年1月~3月)	前年同期比
所在地	ロシア連邦 カムチャツカ地方 ペトロパブロフスク・カムチャツキー市	Net interest income (純資金運用収益)		141	83	58.8%
資本金	1,569百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		65	275	417.7%
議決権の 所有割合	40.00%	Profit for the period (四半期純利益)		△164	10	-
主要事業	銀行業	Total Assets (総資産) (前期末/当四半期末)		11,424	10,598	92.8%

## 会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

## 概況

- ロシアの厳しい経済状況を背景として融資残高は減少し、純資金運用収益は前年同期比で減少したものの、非業務収益が前年同期比で大幅に増加した結果、当第1四半期は黒字転換。
- 欧米諸国の経済制裁や原油価格の下落等により、ロシアの経済は低迷しており、実質GDP(1-3月)は前年同期比1.2%減少。依然として厳しい経済環境は続く。
- ソリッド銀行は、貸出審査及びリスク管理を大幅に厳格化し、融資残高の増大を抑制。また、非金利収入の増大を図るため、クレジットリスクの低い商品開発、保証業務等や貴金属取引のサービスの拡大に取り組む。

	平成27年3月末	平成28年3月末	前年同期比	【為替レート】 平成28年3月末 1RUB = 1.65円 平成28年1月~3月平均 1RUB = 1.60円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	8,575	7,783	90.8%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	8,030	6,304	78.5%	

## 《連結》

(単位:百万円)

商号	株式会社インデックス	期間 科目	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年4月~6月)	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月~6月)	前年同期比
所在地	東京都世田谷区		売上高	-	349
資本金	300百万円	営業利益	-	△69	-
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	-	△70	-
主要事業	デジタルコンテンツ事業	四半期純利益	-	△168	-
		総資産 (前期末/当四半期末)	-	815	-

### 会社プロフィール

- ① デジタルコンテンツ配信やモバイルアプリケーション開発を展開。
- ② 平成27年12月、当社は企業の育成・再生事業として(株)インデックスの株式を取得し、当社グループの一員となる。

### 概況

- スマートフォン市場は販売台数の増加・高機能化を背景に、サービスの多様化・同業他社との競争激化が進む中、月額課金モデルの事業における会員数及び受託開発案件は減少。さらに、ソフトウェアの減損実施による特別損失の計上の結果、業績は低迷。
- 平成28年4月より経営体制を一新し、抜本的な組織改編を実施し、営業の強化及びコスト削減を実行。既存事業の契約・売上増加の他、新規事業・新規顧客の開拓を図る。
- 7月より会社名を「iXIT株式会社(読み:イグジット)」に変更。心機一転、更なる成長・発展を目指す。

※ 当社は、当連結会計年度(平成29年3月期)より(株)インデックスを連結の対象としているため、同社の前期の数値は非表示。

## 《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当第1四半期連結累計期間における当社の連結財務諸表の作成に当たっては、両行における第1四半期決算日(3月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。</li> <li>■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、平成28年1月～3月(又は3月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。</li> </ul>
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

## 《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	平成27年12月期第1四半期		平成28年12月期第1四半期	
		期末レート (平成27年3月末)	平均レート (平成27年1月～3月)	期末レート (平成28年3月末)	平均レート (平成28年1月～3月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円 = 16.52MNT	1円 = 16.33MNT	1円 = 18.23MNT	1円 = 17.33MNT
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB = 2.08円	1RUB = 1.95円	1RUB = 1.65円	1RUB = 1.60円